

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1584 号	氏名	服部 尚子
学位審査委員	主 査	益谷 美都子	
	副 査	高村 敬子	
	副 査	赤澤 祐子	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、世界的に主要な死亡原因の一つである chronic obstructive pulmonary disease (COPD) の重要な因子である喫煙によるアポトーシス誘導機序を新規に解析したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>気管支上皮細胞株にタバコ抽出物 3R4F を作用させ、AHR を介する early growth response protein1 (EGR1) の発現誘導が、アポトーシスと COPD の初期病態を引き起こすことを細胞株とマウスの COPD 発症モデルを用いて明らかにし、さらに AHR の拮抗物質によるタバコによるアポトーシス誘導の阻害物質の候補を探索したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、タバコ抽出物により EGR1 が発現誘導され、アポトーシスに関与すること、AHR により EGR1 は発現制御を受けること、タバコに含有される芳香族炭化水素化合物が、EGR1 発現を介しアポトーシスに関与し、AHR アンタゴニストにより EGR1 発現誘導を減弱化できることを明らかにし、今後の COPD の発症機序の研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は COPD の発症機序の医学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			